

【各資料のQRコード】・・・スマホだと範囲が少々ずれますが、ご了承ください。

①川越巡検の範囲を示した地理院地図



⑤土地条件図凡例



②自分で作る色別標高図



⑥三久保町付近 空中写真 2015年4月



③川越高校が中心の陰影起伏図



⑦三久保町付近 空中写真 2007年7月



④土地条件図



⑧川越市初雁公園基本計画



⑨永島家住宅パンフレット



【各資料のURL】

①川越巡検の範囲を示した地理院地図

<https://maps.gsi.go.jp/#16/35.924870/139.495925/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f1>

②自分で作る色別標高図

[https://maps.gsi.go.jp/#16/35.924879/139.495919/&base=std&ls=std%7Crelief\\_free%2C0.8&blend=1&disp=11&lcd=relief\\_free&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f1&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09](https://maps.gsi.go.jp/#16/35.924879/139.495919/&base=std&ls=std%7Crelief_free%2C0.8&blend=1&disp=11&lcd=relief_free&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f1&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09)

③川越高校が中心の陰影起伏図

[https://maps.gsi.go.jp/#15/35.923774/139.489766/&base=std&ls=std%7Crelief\\_free%2C0.8%7Chillshademap%2C0.77&blend=10&disp=111&lcd=hillshademap&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09](https://maps.gsi.go.jp/#15/35.923774/139.489766/&base=std&ls=std%7Crelief_free%2C0.8%7Chillshademap%2C0.77&blend=10&disp=111&lcd=hillshademap&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09)

④土地条件図

[https://maps.gsi.go.jp/#16/35.924954/139.495873/&base=std&ls=std%7Crelief\\_free%2C0.8%7Chillshademap%2C0.84%7C1cm25k\\_2012&blend=100&disp=1001&lcd=1cm25k\\_2012&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09](https://maps.gsi.go.jp/#16/35.924954/139.495873/&base=std&ls=std%7Crelief_free%2C0.8%7Chillshademap%2C0.84%7C1cm25k_2012&blend=100&disp=1001&lcd=1cm25k_2012&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09)

⑤土地条件図凡例

[https://maps.gsi.go.jp/legend/1cm25k\\_2012/lc\\_legend.pdf](https://maps.gsi.go.jp/legend/1cm25k_2012/lc_legend.pdf)

⑥三久保町付近 空中写真 2015年4月撮影

[https://maps.gsi.go.jp/#18/35.922279/139.494128/&base=std&ls=std%7Crelief\\_free%2C0.8%7Chillshademap%2C0.84%7C1cm25k\\_2012%7Cgazo4%7Cairphoto%7C\\_ort%7Cseamlessphoto&blend=1000000&disp=10001111&lcd=seamlessphoto\\_spec&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09](https://maps.gsi.go.jp/#18/35.922279/139.494128/&base=std&ls=std%7Crelief_free%2C0.8%7Chillshademap%2C0.84%7C1cm25k_2012%7Cgazo4%7Cairphoto%7C_ort%7Cseamlessphoto&blend=1000000&disp=10001111&lcd=seamlessphoto_spec&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09)

⑦三久保町付近 空中写真 2007年7月撮影

[https://maps.gsi.go.jp/#17/35.923183/139.494520/&base=std&ls=std%7Crelief\\_free%2C0.8%7Chillshademap%2C0.84%7C1cm25k\\_2012%7C\\_ort&blend=1000&disp=10001&lcd=airphoto&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09](https://maps.gsi.go.jp/#17/35.923183/139.494520/&base=std&ls=std%7Crelief_free%2C0.8%7Chillshademap%2C0.84%7C1cm25k_2012%7C_ort&blend=1000&disp=10001&lcd=airphoto&vs=c1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f0&reliefdata=0AG2DB4B4GCG71B42DGEGB4A72DG10GB4562DG12GB4491BG14GB43D09GGB43D09)

⑧川越市初雁公園基本計画（概要説明資料）

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/seisakushisaku/hoshinkeikaku/toshi-seikatsukiban/hatukarikoen20190329.files/zenpen.pdf>

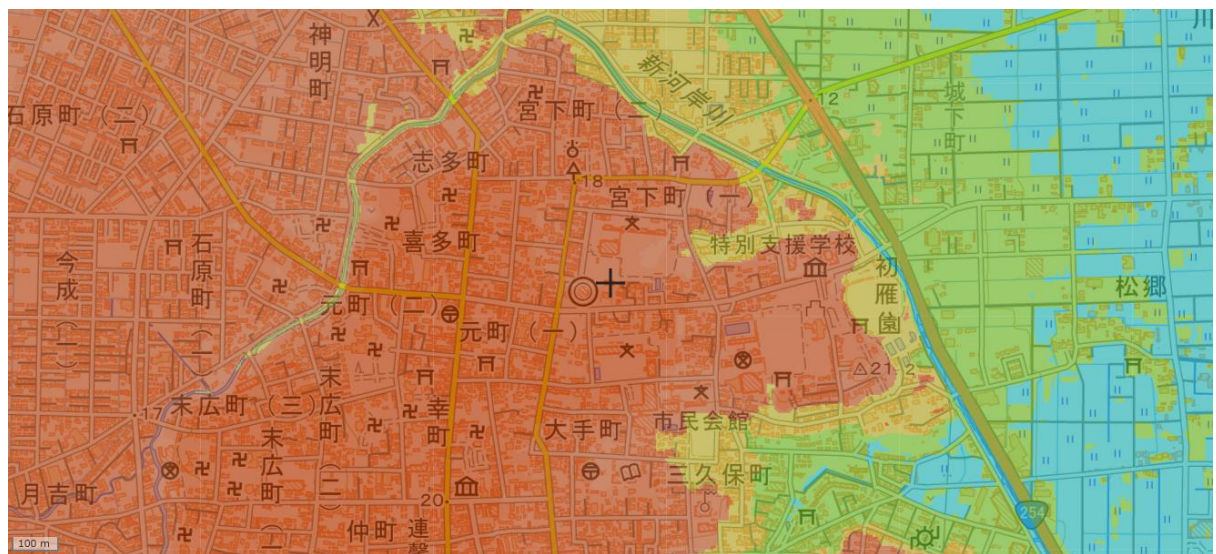
⑨永島家住宅パンフレット

<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kurashi/bunkakyoyo/oshirase/nagashimake.files/pannhu.pdf>

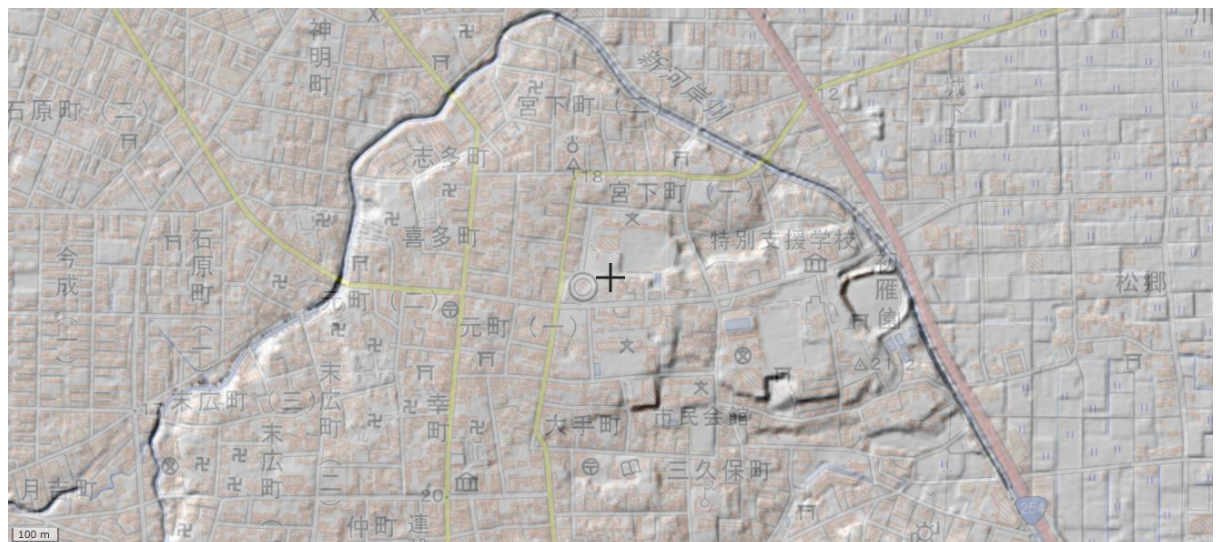
①川越巡検の範囲を示した地理院地図



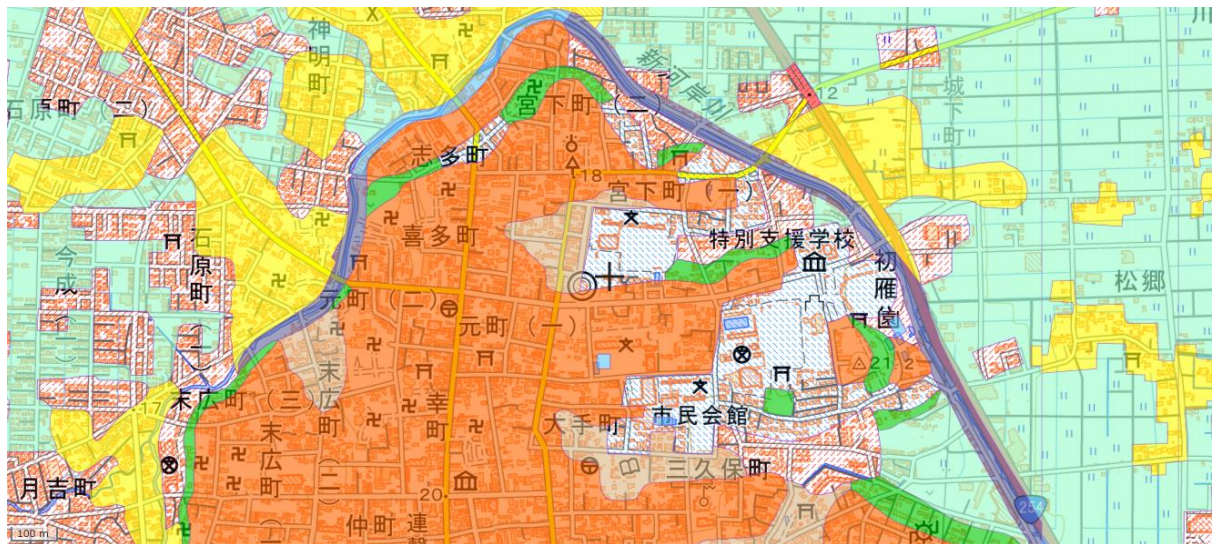
②自分で作る色別標高図



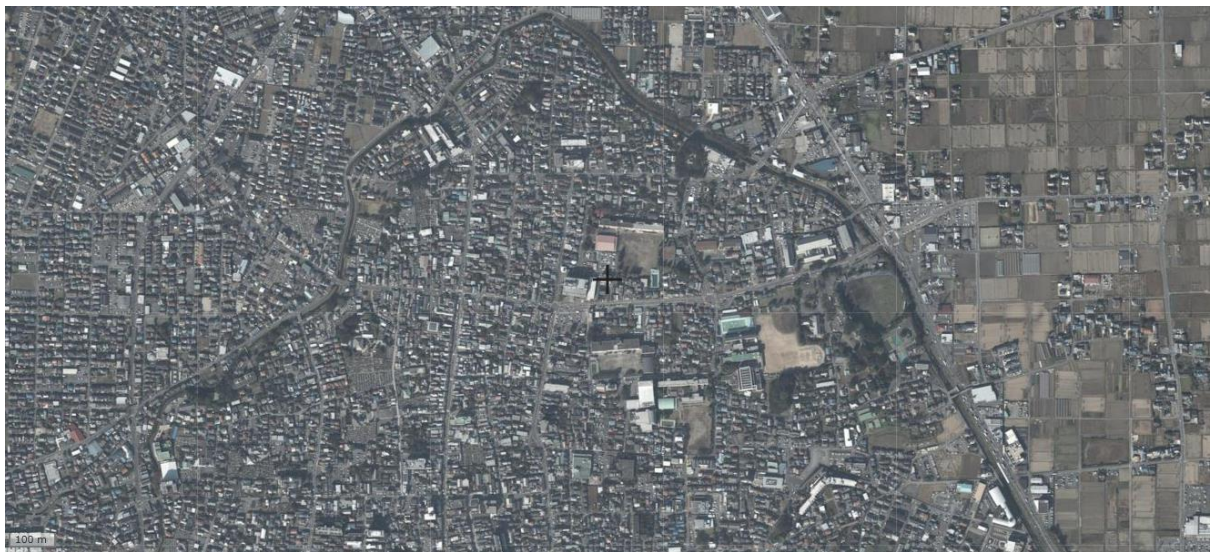
③川越高校が中心の陰影起伏図



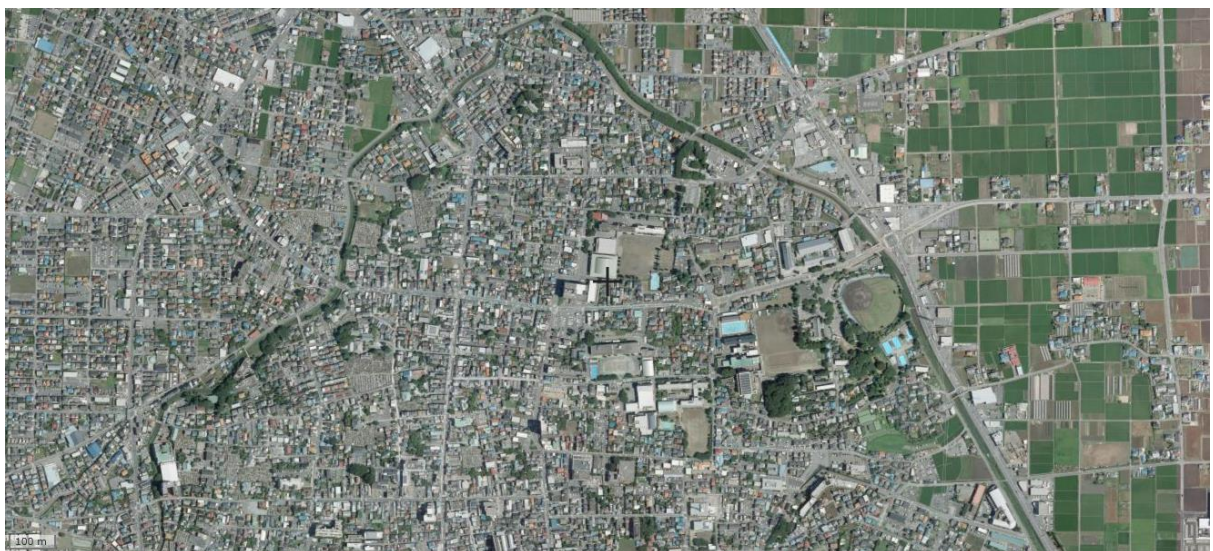
④土地条件図 (⑤土地条件図凡例 地理院地図よりご確認ください。)



⑥三久保町付近 空中写真 2015年4月撮影



⑦三久保町付近 空中写真 2007年7月撮影



⑧川越市初雁公園基本計画（概要説明資料） ⑨永島家住宅パンフレット は別紙参照。

⑩旧埼玉県立川越中学校位置図



⑪赤間川の様子 小泉 功 著 『わが町川越歴史散歩—小江戸の残照』 より抜粋



厩下町界隈

## 厩下町

末広町3丁目  
すまひろちょう

石原方面からとる赤間川にかかる石原橋（高沢橋の上）を渡った一帯（現・末広町）をかつて「厩下」といった。地元の人々は、敬称の「お」をつけて「御厩下」と称している。そのいわれは、「三芳野名勝図会」によると、養寿院の境内であったが寛永年間（一六二四～四三）に代替地を杉原に与えて、御厩屋を建てたので、この町を御厩下といた、とある。

石原橋の北にある三沢屋木材の三沢政太郎さんを訪ねると、御厩下界限のことを次の様に話してくれた。

橋を渡った次の末広町の信号の左側には、大正

が並んでいたが、今はその面影は全くありません。馬場はこの西側にあって、馬の調教がおこなわれ、赤間川の水で馬洗いがおこなわれていたと伝えられています。

橋の上流には、川越藩主秋元但馬守涼朝の頃（一七四二～六七）に、堰が設けられ、米搗きを初め、地粉などを搗いたりした「水車」がつくられた。これは昭和の10年頃まで代々続き、「渡辺水車」といわれていました。堰の下は深く6メートル程もあり、水がこんこんと湧き、水中ポンプ3台でかいどりしても、すぐ湧水が溜ってしまいう程で、魚もよく獲れました。4メートル位の和船に乗って「こい、なまず、えび、ふな、あゆ、たなこ」などを投網で獲ったものです。現在、本川越駅の北側にある、うなぎの「川島屋」は、もとここで、これらの魚を獲った雑魚屋専門の店でしたが、上流にデンプン工場や、センベイ工場ができ、汚水

が流れ沈着するようになったため、だんだん魚も少なくなり、雑魚も獲れず、本川越の方に引越して、うなぎやを始めたのです。

この石原より厩下にかけての赤間川の両岸の斜面では、川店といって、杭を打って水面に接するように板の張出しを作り、この川店で米を研いだり、洗濯などしたものです。

赤間川の水は立派な生活用水でした。また、堰のある深い所では、よく泳ぎましたよ。小学生のころ、夏休みには毎日家の前の、この川で泳いだものです。

なかには不幸にして、水死した人もいたとのこと。

三沢政太郎さんは川面を眺めながら、しみじみと懐かしみ回想されておられた。

今も岸辺には、「水死精霊法要の碑」（明治35年5月之建）が立っており、裏面には渡辺水車のことも刻まれている。